

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 : LM-TU332N2
製品コード : LM90200

会社名 : マックス株式会社
住所 : 群馬県佐波郡玉村町川井1848
担当部門 : 環境・品質保証部 品質統括G
電話番号 : 0270-65-1381

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類対象外
健康に対する有害性 : 分類対象外
環境に対する有害性 : 分類対象外

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル : なし
注意喚起語 : なし
危険有害性情報 : なし
注意書き : なし
他の危険有害性 : 高温・長時間の加熱により塩化水素ガス発生のおそれあり。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

基本組成

化学名又は一般名	含有率	CAS No.	用途
ポリ塩化ビニル	>40%	9002-86-2	樹脂
トリメリット酸トリス (2-エチルヘキシル)	<35%	3319-31-1	可塑剤
マグネシウム・アルミニウム・ハイドロオキシド・カルボネート・ ハイドレート/ジンクステアレート/カウシウムシリケート/ ジベンゾイルメタン/混合物	<2%	11097-59-9 557-05-1 112926-00-8 120-46-7 Mixture	安定剤
三酸化アンチモン	<8%	1309-64-4	難燃剤
ホウ酸亜鉛	<5%	138265-88-0	難燃助剤
水酸化アルミニウム	<13%	21645-51-2	難燃剤

顔料組成

化学名又は一般名	色名
チタニウムホワイト [13463-67-7] 蛍光増白剤 [12769-96-9]	WHITE

危険有害成分情報

法規制	NO.	化学名	含有率
労働安全衛生法	38	アンチモン及びその化合物	<8%
	191	酸化チタン	<3.5%
化管法 (PRTR法)	31	アンチモン及びその化合物	<8%
	405	ホウ素化合物	<5%

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 洗淨水でうがいをする。多量に吸入した場合は医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合 : 通常は問題ないが、異常があれば医師の診察を受ける。
眼に入った場合 : 目をこすらず、直ちに水で洗淨する。もし、異常があれば医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合 : 多量に飲み込んだ場合は医師の診察を受ける。

急性症状及び遅発性症状の

- 最も重要な徴候症状 : 高温で塩化ビニル樹脂を成形していると、樹脂が分解して塩化水素等の有害性ガスを発生することがある。眼や喉に異常を感じた時は、直ちに新鮮な空気の場所に移動する。又、医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 散水、ドライケミカル、泡
使ってはならない消火剤 : 特になし
特有の危険有害性 : 燃焼すると有害性ガスを発生する。ガスの主成分は、HCl、CO、CO2である。
特有の消火方法 : 空気呼吸器を着用して消火作業に当たる。
消火を行う者の保護 : 防護メガネ、空気呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 固体で供給しているので、漏出することはない。
保護具及び緊急時措置 : 固体で供給しているので、漏出することはない。
環境に対する注意事項 : 固体で供給しているので、漏出することはない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 固体で供給しているので、漏出することはない。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
技術的対策 : 通常の実験では必要ありません。
安全取扱注意事項 : 通常の実験では必要ありません。
接触回避 : 通常の実験では必要ありません。
保管
安全な保管条件 : 子供の手の届かないところに保管する。
適切な保管条件 : 直射日光を避け、局所廃棄設備を有し、外気温の影響を受けない換気の良好な冷暗所に保管する。
避けるべき保管条件 : 直射日光が当たり、換気の悪い高温多湿での保管を避ける。
安全な容器包装材料 : 紙袋、紙箱

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 特に必要なし
保護具
呼吸用保護具 : 特に必要なし
手の保護具 : PVC又はゴム製手袋を使用するのが望ましい。
眼の保護具 : 保護メガネを使用するのが望ましい。
皮膚及び身体の保護具 : 保護服、安全靴を着用するのが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状態、形状、色など)

物理的状態	: 固体
形状	: チューブ
色	: 白
臭い	: わずかに特有の臭い
融点・凝固点	: 明確な融点は無く、広い温度範囲で溶融。
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 該当しない (200~300℃で分解)
引火点	: データなし
燃焼性	: 酸素指数約29の自己消火性樹脂
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
比重	: 1.40 ±0.03 (23℃)
溶解度	: 水には不溶。殆どの有機溶媒に不溶であるが、ケトン類、THF類には溶解する。
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし
化学的安定性	: 通常 of 取扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性	: 常温において安定である。
避けるべき条件	: 火気に近づけない、飛散させない。
混触危険物	: 通常 of 取扱いにおいては無い。
危険有害な分解生成物	: 燃焼すると刺激性のガスを発生する。 ガスの主成分は、HCL、CO、CO2である。

11. 有害性情報

急性毒性	: LD50 (経ラット) 2,000mg/kg 以上
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 情報なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 情報なし
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発がん性	: IARC (国際がん研究機構) Group3 発がん性について分類できない。
生殖毒性	: 情報なし
特定標的臓器毒性、単回ばく露	: 情報なし
特定標的臓器毒性、反復ばく露	: 情報なし
吸引性呼吸器有害性	: 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	: 情報なし
残留性・分解性	: 環境中で容易に分解しない。
生体蓄積性	: 蓄積しないものと考えている。
土壌中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄物に関する法律、都道府県又は市町村が定める関連条例の規則に従い、環境に配慮した適切な方法で処分すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

- 国連番号 : 該当しない
国連分類 : 該当しない
陸上 : 容器の破損及び荷崩れ防止に注意する。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法

- 通知対象物質 : アンチモン及びその化合物 (No. 38)、酸化チタン (No. 191)
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)
第一種/第二種指定化学物質 : アンチモン及びその化合物 (No. 31)、ホウ素化合物 (No. 405)
毒物及び劇物取締法 : 該当しない
消防法 : 非該当又は非危険物

1 6. その他の情報

- ・本製品は固形物(事業者が取り扱う過程において固体以外の状態、粉状、粒状にならないもの)であり、SDSの提供対象外製品となります。
- ・本データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保する為の参考情報として提供されるものです。
- ・本データシートを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。
- ・本データシートに記載された内容は現時点で入手出来た情報やメーカー所有の知見によるものです。また、内容は法令の改正及び新しい知見に基づき改訂されることがあります。
- ・本データシートは、安全性の保証をするものではありません。
- ・本データシートは日本国内法令を基準に作成したものであり、日本国外に適用するものではありません。